

# 都市再生整備計画(第8回変更)

栄本町地区

大阪府 池田市

平成21年12月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	池田市	地区名	栄本町地区	面積	149 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

**目標**  
 歩いて歴史と文化を感じるまちづくり  
 歴史的・文化的資産を活かし、生活文化が体験できる街の創出を行う。  
 歩行者空間ネットワークを形成することにより、安全で快適な歩行者空間を確保する。  
 住民をはじめ多くの人々が交流し、こころがふれあい、暮らしやすいと実感できるまちを目指す。  
 安全・安心で快適な市民生活を送ることができ、住み続けたいと思える居住環境の向上を図る。

**目標設定の根拠**  
 まちづくりの経緯及び現況  
 本区域は、阪急宝塚線池田駅が中心に位置しており、旧能勢街道の要路として歴史的、経済的、文化的に発展してきた経緯を持つ区域です。かつては物資交流の場として栄え、社寺や商家などの歴史的町並みを今に残し、市民生活の場と共存しています。また、国の施設や市の文化施設などが多く分布しており、逸翁美術館や池田文庫、ラーメン発明記念館など民間文化施設も立地している。近年、周辺都市の再開発・大規模店舗の進出などの影響により、商業機能の衰退が著しく、先の阪神淡路大震災の被害により、更に商業機能衰退に追い討ちを受けたものです。このため、区域の商業の活性化を目指すと共に歴史的・文化的資産を活かしたまちづくりを推進するための調査・検討を進めてきました。今後、この区域の再生を図るには、地域の魅力を形成する大きな要素である自然と歴史・伝統的な資源にふれあうまちづくりを目指し、人々が交流し、安全・快適に歩ける賑わいに満ちたまちづくりを上位計画に基づき推進するものです。また、地域固有の伝統文化を活かしたイベントを積極的に支援し、来外者が集まる事業を展開する。また、居住環境においては、近年ヒートアイランド現象によるとも考えられる局地的な集中豪雨が頻繁に発生しており、本区域でも数回浸水被害に見舞われています。こうした中、平成9年度より対策強化に乗出し、雨水幹線などの整備を進めてきました。このまちづくりを期に地先雨水の整備を進め、安全で安心できるまちの形成を図る。

**課題**  
 ・古くからの交通の要衝、商業の集積地で栄え、貴重な歴史・文化的資源が残っている。(ストックの有効活用)  
 ・歩行者が楽しく散策できるネットワークづくり(歩行空間の整備)  
 ・利用者の利便性を優先した施設の集約化(合理的集約化)

**将来ビジョン(中長期)**  
 「池田市総合計画」 地域の保有する既存の歴史的・文化的な資産と、五月山に代表される自然系の資源を活かし、文化の薫り高い風格あるまちづくりを図るべき地域  
 住民をはじめ多くの人々が交流し、こころふれあう暮らしやすいと実感できるまちづくり  
 「池田市中心市街地活性化基本計画」 都市計画道路整備、市街地の整備、都市環境の創出、交通体系の整備、公民の役割の分担と商業の活性化を図るべき地域  
 「池田市都市計画マスタープラン」

**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
通りの歩行者数	人/日	地区内道路の通行者数	歴史的・文化的資産活用により生活文化が体験できる街になったことによる、地区内通行者の増加	4,630	平成15年度	平成21年度
まちの満足度	%	地区内道路の満足度	電線類地中化・広幅員歩道等の整備による道路の安全性の向上	14.0	平成10年度	平成21年度
福祉施設の利用者数	人/年	施設の利用者数	福祉施設を集約することにより、不特定多数の交流の場が増えたことによる、活用拡大と利用増進及び来外者受入れ準備が図られる。	37,000	平成16年度	平成21年度
雨水排除能力	m <sup>3</sup> /sec	雨水排水流量	地先雨水を整備することにより下水道管渠の排水能力が倍増され、治水安全度が向上し、安全で安心して暮らせるまちづくりが図れる。	1.7	平成18年度	平成21年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業	
<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的・文化的資産を活かし、生活文化が体験できる街の創出を行う。 池田駅を起点として商業の中心軸と歴史的街並みを体験できるルートを整備し、賑わいによるまちの活性化を図る。 歴史的・文化的資産を明確にし、各資産の保存に努め、歴史と文化を感じるまちづくりを図る。</li> </ul>	道路事業 高質空間形成事業 まちづくり活動推進事業 地域生活基盤施設事業	市道池田南第41号線の整備 市道池田北27号線他 6路線の整備 まちなみ保存、TMO機関助成、イベント支援事業など 情報板設置など
<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者空間ネットワークを形成することにより、安全で快適な歩行者空間を確保する。 電線類地中化した広幅員歩道を備えた道路の整備を行い、安全・快適な都市空間を形成する。 誰もが憩えるくつろぎ空間を整備し、人々が交歓出来る場所を確保することにより、賑わい空間を創出する。</li> </ul>	道路事業 街路事業 地域生活基盤施設事業 高質空間形成事業	市道池田南第41号線の整備 中央線整備、電線類地中化 ポケットパークの整備 市道池田北27号線他 6路線の整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>住民をはじめ多くの人々が交流し、こころがふれあい、暮らしやすいと実感できるまちを目指す。 乳幼児から高齢者まで全ての市民が安心して生活できるよう保健福祉サービスの総合的・一体的な情報提供の拠点とする。 子育て支援の一環として、子どもが利用しやすいように、また、子育て世代の情報交換の場を提供する。</li> </ul>	高次都市施設 地域創造支援事業 公園事業	(仮)保健福祉総合センター建設事業 (仮)保健福祉総合センター建設事業 塩塚公園他2公園の改修整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心で快適な市民生活を送ることができ、住み続けたいと思える居住環境の向上を図る。 雨水排水管を整備し、浸水被害を防ぎ、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す。</li> </ul>	地域創造支援事業	地先雨水整備事業
その他		
<p>提案事業</p> <p>まちなみ保存事業          歴史的・文化的資産の保存(池田市まちなみ保存整備事業)          旧来からのまちなみと一体となった歴史的・文化的資産が分布する地区のたたずまいを保存するため、保存区域を設定し、建造物の保全を行う者に助成制度を適用することで保存に努める。</p> <p>TMO助成事業          TMO活用によるまちづくり支援          タウンインフォメーション事業          空き店舗入居促進事業          ガイドライン策定事業          空き店舗B O Xストア事業          官民一体商店街連携イベント事業          池田ブランド商品開発事業</p> <p>イベント支援事業</p> <p>事業活用調査</p> <p>まちかどギャラリーパネル          設置事業</p> <p>音楽堂改修事業</p> <p>歴史的・文化的資源への案内マップを作成し来街者が安心して歩けるルートの照会を行い、各資源の認知度を高める。          空き店舗入居の間接的仲介を図り、望ましい業種を入居させ、集客の増加を図る。          商店開業者等に対し、ビジネスモデル等を記載したガイドブックを発行し活性を図る。          空き店舗を活用し短期でフリーマーケットを行う出店者を募り、空き店舗の有効活用と商店街の賑わいの創出を図る。          TMOと商店者、市民、行政が連携し、商業と文化の融合を図り多様な魅力を創出し、中心市街地への誘導要因を創り出し活性化を図る。          新しい池田をイメージするブランド商品を地域事業者等と一体的に企画・推進し、新しい池田のイメージによる来街者及び通行量の増加に伴う経済波及効果を促進させる。</p> <p>地域の歴史と伝統文化を活かしたイベントを支援する。</p> <p>事業効果の分析について各評価指標の調査等の専門的作業を行い、その後のまちづくりの方向性について検討を行なう。</p> <p>まちかどにギャラリーパネルを設置し、文化・芸術性のあるまちなみを創出する。</p> <p>音楽を通して地域が一体となるまちづくりを目指す。</p>		



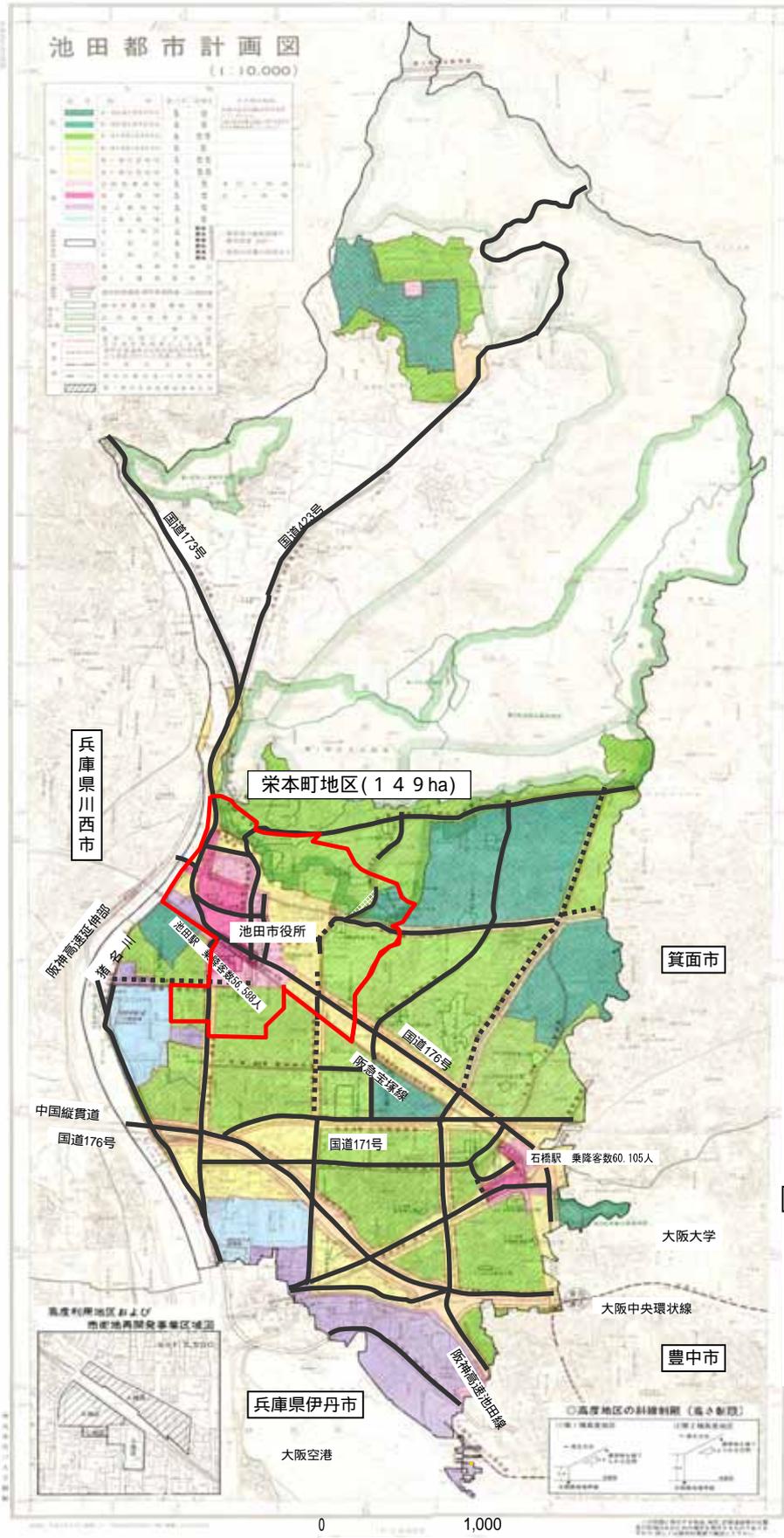
都市再生整備計画の区域

栄本町地区（池田市）

面積 149ha

区域

栄本町、西本町、栄町、菅原町、城南1～3丁目、五月丘1～2丁目他



## 栄本町地区(大阪府池田市)整備方針概要図

<b>目標</b>	歩いて歴史と文化を感じるまちづくり 歴史的・文化的資産を生かし、生活文化が体験できる街の創出を行う。 歩行者空間ネットワークを形成することにより安全で快適な歩行者ルートを確保する。 住民をはじめ多くの人々が交流し、こころがふれあい、暮らしやすいと実感できるまちを目指す。 安全・安心で快適な市民生活を送ることができ、住み続けたいと思える居住環境の向上を図る。	<b>代表的な指標</b>	通りの歩行者数 (人/日)	4,630 (15年度)	5,310 (21年度)
	まちの満足度 (%)		14.0 (10年度)	30.0 (21年度)	
	福祉施設の利用者数 (人/年)		37,000 (16年度)	50,000 (21年度)	
	雨水排除能力 (m <sup>3</sup> /sec)		1.7 (18年度)	4.3 (21年度)	

